



社会福祉法人 みのり会会報

発行：2025年10月

社会福祉法人みのり会
〒216-0006
川崎市宮前区宮前平1-8-12
Tel 044(855)9455 Fax 044(855)9454
<http://www.tobe-kobato.or.jp/>

新理事長
就任挨拶

「法人設立34年目を迎えて」

「宮前区にも障がい者が通える作業所が欲しい!!」を出発点に
「宮前区に福祉作業所を作る会」が発足したのは1984年1月の
ことでした。翌年5月1日プレハブの地域福祉作業所「宮前こぼと
の家」が現在の宮前区宮前平のみのり会本部「生活介護 セルプ宮
前こぼと」の地に完成しました。地域福祉作業所「宮前こぼとの家」
の開所から本年度で40年が経過しました。

法人設立時より役員の皆様には、多くの教えをいただきました。
この度、前理事長 宮澤明の後任として本年6月20日をもちまして
理事長に就任致しました。宮澤明前理事長には、理事として今までに
変わらずご支援いただくことになりました。法人設立にご尽力いただきました初代理事長 故岩田
和郎氏、グループホーム作りと人権擁護に心血を注がれた2代目理事長 故前川清治氏、宮前区の
拠点施設まじわる宮前の設立を成し遂げていただきました3代目理事長 川島芳茂氏、地元で民
生・児童委員の経験をもとに地域福祉に力を注がれた4代目理事長 宮澤明氏。歴代の素晴らしい
理事長にお教えいただいたことを誇りに、本法人に集う利用者様とそのご家族の幸せを求め専心努
力をいたす所存でございます。今後とも格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人みのり会
理事長 山中淳子

このたび 社会福祉法人みのり会理事長を退任いたしました。
(社福)みのり会の先の理事長を務められた諸先輩に学びながら 障がいの
ある人たちの地域生活作りに心血を注いで今日まで参りました。私自身、
娘の難病に心を痛めてきたこともあり、利用者様の親御様の熱い思いに心
を動かされながら、障がいのある人たちが老後まで安心して暮らせる地域
作りを 理事長として九年間実践してまいりました。これも多くの方々のご
支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
なお、今後も理事として、みのり会の発展のため尽力したいと存じます。
後任には山中淳子が就任いたしましたので、私同様よろしくご指導ご支援
を賜りますようお願い申し上げます。

前理事長
退任挨拶



社会福祉法人みのり会
前理事長 宮澤 明

令和6年度 社会福祉法人みのり会 事業報告

令和6年4月1日 障害福祉サービス等報酬改定が行われ、各事業所ともその対応に追われました。

生活介護事業は、サービス提供時間に応じた評価（送迎時間は算定時間から外す）が導入され、個別支援計画に定めた個々の支援時間で算定することとなりました。全国的には大きな減収となった事業所も多い中、当法人の生活介護事業所3カ所は、重度障害者支援加算及びその初期加算を算定したことで自立支援給付費収入は令和5年度より増収となりました。各事業所とも算定時間の獲得のため、旧来、グループホームで行っていた通院支援を生活介護事業所で行うことにしました。また、食事提供体制加算、送迎加算、入浴支援加算、常勤看護職員等配置加算等の獲得のため、専門職員の確保や諸証票等の整備に努めました。

グループホームでは、世話人等の配置基準に応じた基本報酬を改め、サービス提供時間の実態に応じた加算へという大きな変化がありました。しかし、法人内では提供時間が長時間に及ぶ方々も多く、さらに、区分5・6の報酬算定額の増収、重度支援加算の対象者の増加により訓練等給付費収入は多少の増収となりました。新たに「地域連携推進会議」の開催が令和7年度から義務付けられることになりました。令和6年度のグループホームにおいては、利用者様へ誤薬という重大事故を引き起こし、7月11日「グループホームにおける事故再発防止検討委員会」をご家族様のご要望で開催しました。この委員会は学識経験者、家族会代表、常務理事、グループホーム管理者、サービス管理責任者で構成し、再発防止策を検討しました。次年度には、区内の民生児童委員に新たに加わっていただき「グループホーム宮前こぼとの家 地域連携推進会議」を発足させることにしました。

10月11日川崎市の運営指導を受けたあーる工房のサービス管理責任者を中心に各事業所のサービス管理責任者が一堂に会し、個別支援計画書の在り方、サービス担当者会議、個別支援会議の在り方について、検討を行いました。

人材不足については、社会福祉協議会福祉人材バンク主催「おしごと相談会」、求人情報媒体を各種使用し人材確保に努めました。本年度から「新人職員教育担当者会議」を開催し、各事業所で新人職員を受け入れる際の教育の在り方について検討を重ねました。生活介護事業所では、社会福祉士のための実習生や保育実習生、介護体験実習生の受け入れを積極的に行い、次世代の職員採用へと結びつけられるよう努めました。

寄付御礼

令和6年8月にご寄付をいただき、生活介護あーる工房にて送迎車両を購入させていただきました。あーる工房では毎年支援学校卒業生の受入れを行っているため、数年おきに送迎車両を購入する必要があります。今回は「神奈川県遊技上組合様・神奈川福祉事業協会様」より車両の寄贈をいただき、福祉車両贈呈式に理事長、常務理事が出席してまいりました。新しい車両の導入により送迎サービスがよりスムーズに実施できるようになりました。ありがとうございました。



令和6年度 事故報告

ヒヤリ体験月別報告

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
セルブ宮前こぼと	1	1	1	0	1	4	0	1	0	1	0	1	11
分場 陽だまり	1	2	4	0	1	0	2	0	2	1	2	0	15
厨房じんべい	0	0	2	1	1	0	2	2	0	2	0	2	12
分場 工房じんべい	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3
あーる工房	2	3	5	4	2	3	4	2	2	1	2	0	30
短期入所ころん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	1	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	7
地域相談支援センターポラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援センターさまっしー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日中一時支援たのっしも	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	7	14	5	6	7	10	6	4	6	4	4	79

「ヒヤリ体験報告」は、通院の必要のない利用者・職員の怪我や事故に至らなかったが「ヒヤッ」としたことを全体で共有し、大きな事故を予防する取り組みです。令和6年度は全体で79件の報告があり、内容は「利用者の転倒・怪我・誤嚥・誤飲」が22件、「車両運行」についてが22件で全体の半数以上を占めています。

事故月別報告

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
セルブ宮前こぼと	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	5
分場 陽だまり	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
厨房じんべい	1	0	1	1	1	2	0	1	0	1	0	0	8
分場 工房じんべい	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
あーる工房	3	0	1	1	0	0	4	0	1	1	2	0	13
短期入所ころん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	1	4	0	2	2	4	1	1	1	3	0	3	22
地域相談支援センターポラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援センターさまっしー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日中一時支援たのっしも	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	4	2	4	6	6	6	3	2	6	3	3	52

「事故報告」は通院が必要な怪我や修理・買換えが必要な破損等についての報告です。今年度は52件の報告があり、内容は服薬ミス、誤薬が21件と最も多く、ついで「利用者の行方不明・行動停止・自傷他害・破壊行為等」が11件、「車両運行」が7件でした。利用者の通院が必要な怪我や、誤薬、車両運行上の公共物への接触等については川崎市へも随時報告書を提出し、改善に努めています。



令和6年度 セルプ宮前こぼと・分場陽だまり 事業報告

令和6年度は現在、利用定員・現員は46名（セルプ宮前こぼと37名、分場9名）でした。平均年齢はセルプ宮前こぼとは41.6歳、分場陽だまりは57.4歳になりました。陽だまりの平均障害支援区分は5.68と重度高齢化問題が顕著になった1年でした。8月には新型コロナウイルス感染症で次々利用者様、職員ともお休みする事態もありました。令和7年に入りインフルエンザウィルスに感染する利用者様、職員が増えてしまいました。利用者様の健康管理は、整形外科医師、作業療法士に來所頂き、利用者様や職員の相談を受けていただきました。また健康診断は年2回実施しました。新型コロナウイルス・インフルエンザ予防接種は、嘱託医の山本整形外科院長に來所していただき、ご希望の利用者様、希望する職員に接種していただきました。併せて希望する利用者様には带状疱疹のワクチンも接種しました。

看護師を講師に「感染症の基礎知識」に合わせ、機械を使って手の洗い方やパルスオキシメーターの使用や予防着の着脱など実技も含めた研修会を実施しました。行事では、8月にはたんぽぽ会主催の夏祭りを行いました。その他コロナやインフルエンザの感染状況を見極めながら2グループに分けて「ソレイユの丘」、「八景島シーパラダイス」を楽しんでいただきました。

分場陽だまりは職員体制を昨年度同様厚くしました。行事では「海ほたる」に行きましたが、途中渋滞に巻き込まれ外出先で滞在時間が短くなり、余裕を持って行動する事ができませんでした。次年度の日帰り遠足は近隣で楽しめる場所を探します。

高齢者が多くお住いの近隣への貢献事業として職員によるこども公園の清掃作業を毎週水曜日から30分程実施しました。こども110番のステッカーの貼り出しを継続しました。グループホームのバックアップ事業所として、緊急事態や急な疾病のあった際には通院同行を行いました。利用者様が「みのり会苦情解決に関する規則」による第三者委員への相談がしやすくなるような環境の確保に努めました。「人権擁護研修会」にはほぼ全職員が参加しました。



令和6年度 厨房じんべい・分場工房じんべい 事業報告

厨房じんべい 工房じんべい

令和6年度、新たな利用希望者の受け入れはなく、厨房じんべいは定員16名現員16名、工房じんべいは定員13名に対して現員12名と1名減員のまま1年を通しての運営となってしまいました。

近年、6月～10月は外出もままならぬほどの暑さとなり、日中活動を制限せざる得ない気候となっております。利用者様やご家族よりご要望がある散歩の実施が難しく、筋力をいかに維持するのかを職員間で検討し、室内での運動機器の使用や体操などで代替えすることとしました。

厨房じんべいでは生産活動の一貫として、厨房じんべい・分場工房じんべい・セルプ宮前こぼと 分場陽だまりの昼食の提供をしております。

近年、物価高騰に伴う食材費等の値上げが著しく、令和6年も限られた予算の中で利用者様が楽しみにされている昼食の提供を維持できるようにメニューや食材、業者等の選定をその都度行い、何とかやりくりする一年となりました。

利用者様が楽しみにされている日帰り外出は前期・後期と予定通り実施することができました。利用者自治会役員が中心となり、行先を検討し、新江ノ島水族館・町田リス園・多摩動物公園に出かけることができました。天候にも恵まれ、利用者様も楽しんでおられました。

コロナウィルス以降、縮小傾向にあった販売会も令和6年には以前のように実施されたために、積極的に参加をしました。販売会では今年度製造を開始した米粉のシフォンケーキやクッキーの販売も始めました。

一度に製造できる数が限られてしまいましたが、販売会ではその都度完売になり、購入された方からもお褒めの言葉をいただきました。

地域の民生委員の方々とは、川崎市社会福祉協議会主催の「福祉でつながる地元交流会」や向丘地区障害児（者）部会などで交流を深めました。



令和6年度 生活介護 あーる工房 事業報告

令和6年度は、新たな利用者様の受け入れはなく、定員60名、現員63名でスタートしましたが、4月、12月に各1名が退所され、61名となりました。施設内の活動では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年6月よりZoomによるオンラインレッスンに変更していた「手話ダンス」を対面でのレッスンに戻すことができました。レッスンでは曲の間奏の時に入れ替わるフォーメーションや移動中のハイタッチなどの動きを取り入れています。



また、地域での販売会への参加も再開し、「あざみ野フェローマルシェ」「KAWASAKI産SUNフェスティバル」「しあわせを呼ぶコンサート」「川崎市宮前老人福祉センター」へ参加させていただきました。ベーカリーカフェひよこのカレーパンやバターロール、イチゴのラスクやさくらあんぱん、利用者様の作品を印刷したエコバッグをラインナップしたところ、お客様からもご好評頂きました。

「夏まつり」「ハロウィンパーティー」「20歳を祝う会」「節分」など施設内での行事を継続しつつ、利用者様からの強い要望のある「外出・日帰り旅行」を小グループに分かれて実施しています。「すみだ水族館」「三鷹の森ジブリ美術館」「サンリオピューロランド」「カップヌードルミュージアム」「こどもの国」など、行き先も増やしています。

令和6年度 短期入所こころん 事業報告

短期入所こころんは定員4名の在宅でお過ごしの方に短期間の入所支援を提供し、令和6年度は年間で延べ1177名のご利用がありました。6名の新規契約、4名がグループホーム等への入居のため契約終了となり、契約者数は90名前後です。

利用者様は、通所施設に行きながら利用される方が多く、夜は居室で好きなTV番組をご覧になったり、書き物やトランプなど自由に過ごされています。夕食後の食器洗いも「自宅ではやっていない」とおっしゃりながら楽しそうに取り組まれる姿が見られます。令和7年度から定員を6名に変更するため、居室増設工事を行いました。今後もたくさんの方にご利用していただけるよう、努めていきます。



令和6年度 日中一時支援事業たのっしも 事業報告



川崎市の日中一時支援(障害児者一時預かり)事業の要綱に基づき、定員5名で夕方の支援を行ってきました。

季節に応じた創作活動やボール投げ、ゲーム、おやつタイムなどを組み合わせた日課を確立することで利用者様に見通しをもって過ごしていただきました。

令和6年度末をもって事業を終了し、令和7年度からは日中短期入所事業へ移行し、短期入所事業と一体となって運営する予定です。

令和6年度 地域相談支援センターポポラス 事業報告

令和6年度は川崎市の方針により計画相談を他の事業所へ移管する等により件数を大幅に減少することになりましたので、本来業務である一般相談(障害に関する生活面での様々な相談)にのることができました。毎月の新規相談は平均的に6,7件程度ありまして、多い時で10件程のご相談がありました。相談内容としては「親が高齢になり、(ひきこもり等の)子どもの世話をしていくことが困難になったときにどうしたらいいか」「日中の通所先や居場所探し」「グループホームや市営住宅への居住支援」等がありました。今後もポポラスの担当地区にお住まいの地域住民の皆様のお役に立てるように努めていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。この度、地域相談支援センターポポラスは令和7年6月20日に長年活動をしてきました宮崎台駅前から宮前平駅前のマンションに事業所を移転いたしました。新住所は「川崎市宮前区宮前平1-8-11サザンクロス宮前203」です。

令和6年度 生活支援センターきまっしー 事業報告

生活支援センターきまっしーでは川崎市から受託している「川崎市障害者生活支援・地域交流事業」と「指定特定相談支援(計画相談)」を中心に事業を行いました。

川崎市障害者生活支援・地域交流事業

障がいのある方が暮らしやすい地域づくりをめざして取り組みをすすめています。

☆「障がいしゃサポーター」事業☆

「日赤奉仕団団員研修会」「野川小学校4年生」を対象に講座と体験を実施。小学生を対象にした講座は初めてでしたが、皆さん熱心に耳を傾けてくださいました!



夏まつりで人気のボディペイント

☆「まじわーるdeまなぶ」☆

「障がいとともに地域で暮らすとは」地域相談支援センターポポラス管理者山田久美子氏を講師に相談支援の取り組みを紹介しながら。参加者からも様々な立場から質問や困りごとが寄せられよい学びの場となりました。

☆「まじわーるdeワークショップ」☆ ～クリスマスリース作り～

令和6年12月14日 講師：八木美穂氏 初めて午前、午後の2回開催し、25名が参加されました。

☆「まじわーるde夏まつり」☆

令和6年7月20日宮前区を中心に障害施設の紹介やアート作品展示、ゲームやワークショップなど地域の民生委員をはじめ多くのご協力のもと、開催することができました。



クリスマスリースが完成

☆「季刊誌きまっしー」の発行☆

6月31号・ 月32号と2回発行しました。専門職からの情報や障害福祉の豆知識など新たなコーナーを設けました。

計画相談では契約者が98名(令和7年3月末)。計画の作成や定期的なモニタリングの他、グループホーム等新たな福祉サービスのご利用や関係機関との連絡調整など、利用者様に寄り添いながら日々取り組んでいます。

令和6年度 グループホーム宮前こばとの家 事業報告

令和6年3月に宮崎こばとの家の定員を1名増とし定員5名としました。令和7年3月31日現在、グループホームは11カ所、定員・現員とも54名の方々にご利用いただきました。利用率は81%ほどですが、親御様のご高齢化に伴い帰宅困難となった方々も多く利用率が100%に達したホームがある一方で、毎週金曜日には帰宅されている方々もあり、利用率が50%に満たないホームもありました。利用者様とご家族のご事情に応じてご利用いただき、支援させていただきました。

ホームの支援体制を安定的なものにしていく為に、新たな人材の確保、育成に努めました。虐待や不適切支援防止の徹底のため、採用して即夜勤に配置する事はせず、バックアップ施設であるセルフ宮前こばとで研修、実習を経た後、グループホームでのダブル配置による実習を1カ月以上行った後、独り立ちで配置するようにしました。

服薬ミスに起因する事故が続けて発生したため、法人の産業医に相談し薬局の局長様を講師に「薬の基礎的な知識とリスク」について研修会を実施しました。

各ホームに設置されているAED(自動体外式除細動器)を救命が必要な際に使用できるよう日本赤十字のインストラクター様にご依頼し、実践的な研修を複数回実施し、全職員が受講しました。

日々の夕食調理を株式会社ニチダンに依頼しました。8月に全国的に起きた米不足にもニチダンで対応し不測の事態は回避できました。

「身体拘束廃止・虐待防止委員会」では第三者委員の意見を真摯に受け止め、各現場・各職員に「身体拘束廃止・虐待防止委員会」での討議を全職員に報告することで、再発防止に努めました。

個別支援計画に基づく支援を的確に行える様に、ホームごとのスタッフ会議では計画書を全員で検討しました。

ホームでのお楽しみ行事として誕生日会やバーベキューなどのイベントを企画・実施しました。ヘルパー活動の日程・活動内容についての相談を支援センターの協力を得ながら取り組みました。

通院支援は、年々ご家族での通院同行が困難な方が増加しており、ホーム職員の通院同行件数は増え続けていましたが、令和6年度は、報酬改定により生活介護事業所が利用時間による報酬算定となり、平日の通院については、生活介護事業所ではほとんど対応することになりました。大学病院や市立病院など通院に長時間を要する方々の通院は管理者やサービス管理責任者が同行しました。

利用者様一人一人が健康で安全な生活を送れる様に、関係諸機関と一丸となり、支援に努めました。



令和6年度 絵画 事業報告

アーティストの特性を理解し、テーマに合った画材や技法を提案しました。大きな作品や立体作品にも取り組み、また季節感を感じる事が出来る作品制作も行いました。

完成した作品はセルフ宮前こばと館内や玄関前の掲示板への展示、まじわる宮前の「ベーカリーカフェひよこ」にて「ひよこギャラリー」として「中道一輝アートなベジタブル展」「おいしい♡アート村上典子展」「2025カレンダー原画展」「春いろ中村友香展」を開催し、展示に合わせた自主製品も販売しました。引き続き宮前区役所(3~4か月に1回入替)、久地診療所、城南信用金庫宮前平支店へ作品を展示させていただきました。

令和6年10月13日にセルフ宮前こばとにてアートフェスタを開催。より地域の方々に観ていただける様つとめました。当日は100名以上が来所され、20万円以上の作品の売り上げがありました。またカレンダーも販売を開始し各事業所で販売目標を達成しました。「地域活動支援センターアトリエ言の葉」が主催するグループ展「One person One art展」(6月12日~6月16日)に参加しました、横浜市民ギャラリーあざみ野にて開催されました。法人より14点の作品を展示しました。きまっしー主催の「まじわるde夏まつり」へも17点の作品を出展しました。また、缶バッチを作るワークショップを行い、近隣の子供たちが多く参加しました。新たな取り組みとして、南菅生自治会館文化祭&マルシェ(11月17日)や宮崎台落ち葉公園マルシェ(12月8日)に参加し、各町会長との交流や自主製品販売や作品展示を通してみのり会や障がいについて知って頂くことができました。

企業にパラアートをレンタルする仲介業者と契約を結びました。作品のレンタルが決まった場合はアーティストに規定通り使用料をお支払いします。

絵画主幹は、NPO法人川崎市障害福祉施設事業協会と川崎市文化財団が共同で立ち上げたパラアート推進事業に協力しました。パラアートの一環としてカラースかわさき2024展(11月22日~12月1日)に出展しました。また、川崎市と障施協が主催している「手をつなぐフェスティバル」(11月16日)に企画委員として参加し、等々力アリーナ内と屋外に他法人と協力して合計30点展示しました。



令和6年度 社会福祉法人みのり会 決算報告

資金収支計算書

借方		貸方	
勘定科目	決算	勘定科目	決算
事業活動支出	888,118	事業活動収入	1,039,959
施設整備等支出	20,941	施設整備等収入	12,207
その他の活動支出	147,316	その他の活動収入	17,124
当期資金収支差額	14,514		
合計	1,070,890	合計	1,070,890

事業活動計算書

勘定科目		決算	前年度	増減
サービス活動増減	事業収益	1,021,921	899,360	122,560
	寄付金収益	1,326	2,386	△ 1,060
	サービス活動収益	1,023,247	901,787	121,500
	人件費	695,104	653,108	41,995
	事業費	98,687	97,852	835
	事務費	79,178	97,892	△ 18,713
	生産活動等費用	16,991	17,830	△ 839
	減価償却費	49,647	51,049	△ 1,401
	国庫補助金取崩額	△ 30,983	△ 33,559	2,575
	サービス活動費用	908,626	884,174	24,452
	サービス活動増減差額	114,620	17,572	97,048
活動外増減	サービス活動外収益	16,761	15,514	1,246
	サービス活動外費用	6,951	7,260	△ 308
	サービス活動外増減差額	9,810	8,254	1,555
経常増減差額		124,431	25,826	△ 32,131
特別増減	特別収益	19,871	13,661	6,210
	特別費用	49,611	14,158	35,452
	特別増減差額	△ 29,740	△ 497	△ 29,242
当期活動増減差額		94,691	25,328	69,362

※特別費用のうち 30,635 千円は、グループホームの利用料
収支差額を H31～R5 年度分に遡り、利用者へ返還した額

貸借対照表

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	557,733	573,198	-15,465	流動負債	68,576	94,995	-26,419
現金預金	394,700	418,323	-23,623	固定負債	108,265	95,532	11,732
事業未収金等	163,033	154,874	8,158	負債の部合計	175,842	190,528	-14,686
固定資産	1,638,844	1,562,152	76,692	純資産の部			
基本財産	1,091,862	1,121,706	-29,843	基本金	61,535	61,535	-
土地	120,400	120,400	-	国庫補助金等特別積立金	877,987	896,763	-18,776
建物	971,461	1,001,305	-29,843	その他の積立金	365,814	265,714	100,100
その他固定資産	546,982	440,446	106,536	次期繰越活動増減差額	715,400	720,809	-5,408
固定資産	116,869	116,336	533	(うち当期活動増減差額)	94,691	25,328	69,362
退職給付引当資産	56,743	51,561	5,181	純資産の部合計	2,020,736	1,944,821	75,914
その他の積立資産	365,814	265,714	100,100	負債・純資産の部合計	2,196,578	2,135,350	61,228
差入保証金等	7,555	6,834	720				
資産の部合計	2,196,578	2,135,350	61,228				

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日) 単位:千円

令和6年度 社会福祉法人みのり会 財産目録

令和 7 年 3月31日 現在

(単位:千円)

貸借対照表科目	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	—	—	394,700
事業未収金	—	—	153,871
未収補助金	—	—	1,065
貯蔵品	—	—	1,921
商品・製品	—	—	835
仕掛品	—	—	31
原材料	—	—	762
前払費用	—	—	4,546
流動資産合計			557,733
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	—	—	120,400
建物	1,344,588	373,126	971,461
基本財産合計			1,091,862
(2) その他の固定資産			
土地	—	—	0
建物	192,244	109,260	82,984
機械及び装置	46,673	46,416	256
車両運搬具	48,500	43,155	5,344
器具及び備品	82,516	69,480	13,035
有形リース資産	17,931	3,142	14,789
権利	2,349	1,890	459
ソフトウェア	7,049	7,049	0
退職給付引当資産	—	—	56,743
その他の積立資産	—	—	365,814
預託金・出資金	—	—	1,172
差入保証金	—	—	5,346
長期前払費用	—	—	1,036
その他の固定資産合計			546,982
固定資産合計			1,638,844
資産合計			2,196,578
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
事業未払金	—	—	25,909
1年以内返済予定設備資金借入金	—	—	4,044
1年以内返済予定リース債務	—	—	2,583
賞与引当金	—	—	36,039
流動負債合計			68,576
2 固定負債			
設備資金借入金	—	—	38,081
リース債務	—	—	12,441
退職給付引当金	—	—	56,743
固定負債合計			107,265
負債合計			175,842
差引純資産			2,020,736

減価償却の累計額 653,520千円



セルフ宮前こばと [生活介護：定員46名]

〒216-0006 川崎市宮前区宮前平1-8-12

TEL : 044-855-9455 / FAX : 044-855-9454

E-mail : f-minorikai@tobe-kobato.or.jp

分場 陽だまり

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹1-4-3

TEL / FAX : 044-852-4554



グループホーム 事務所

〒216-0006 川崎市宮前区宮前平1-8-11

サザンクロス宮前102号室

TEL : 044-948-8381

グループホーム 宮前こばとの家

[共同生活援助(包括型):定員54名]

グループホーム 宮前こばとの家

〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵

グループホーム 第2宮前こばとの家

〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵

グループホーム 高山こばとの家

〒216-0022 川崎市宮前区平

グループホーム 第2高山こばとの家

〒216-0022 川崎市宮前区平

グループホーム 五所塚こばとの家

〒216-0021 川崎市宮前区五所塚

グループホーム 菅生こばとの家

〒216-0015 川崎市宮前区菅生

グループホーム 第2宮崎こばとの家

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎

グループホーム 馬絹こばとの家

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹

グループホーム 第2馬絹こばとの家

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹

グループホーム 第3馬絹こばとの家

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹

グループホーム 宮崎こばとの家

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎



宮前区障がい福祉拠点施設

〒216-0035 川崎市宮前区馬絹6-10-33

まじわる宮前内

あーる工房 [生活介護：定員60名]

TEL : 044-855-0780 / FAX : 044-855-0781

こころん [短期入所・日中一時支援
(日中短期入所) 事業：定員6名]

TEL : 044-855-2011 / FAX : 044-855-0781

事業・定
員変更

生活支援センター きまっしー

[川崎市障害者生活支援・地域交流事業
計画相談/地域移行支援/地域定着支援]

TEL : 044-855-1011 / FAX : 044-855-1022



厨房じんべい [生活介護：定員29名]

〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵1-34-9

TEL : 044-872-8370 / FAX : 044-872-8371

分場 工房じんべい

〒216-0015 川崎市宮前区初山1-37-56

TEL/FAX : 044-975-0259



地域相談支援センター ポポラス

[川崎市相談支援委託事業(地域型)
一般相談/地域移行支援]

〒216-0006 川崎市宮前区宮前平1-8-11

サザンクロス宮前 203号室

TEL : 044-870-5236 / FAX : 044-870-5237

引越
しました！